

2023 年度 第 4 次豊田市教育行政計画 点検・評価報告書【概要版】



1 点検・評価の概要及び実施方法

豊田市教育委員会では、豊田市教育大綱に掲げためざすべき教育の姿の実現にむけて、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、豊田市教育委員会が所掌する事務を適切に執行しているかについて、教育委員会自らが事業の点検・評価を行います。また、特に重点的な事業については、外部の有識者や教育委員の意見・助言を参考にしながら、担当課へのヒアリングや現地視察を通して、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表しています※。

※「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条に規定

＜第 4 次豊田市教育行政計画の進捗状況＞

	自己評価区分				進捗状況				
	A	B	C	D	順調	概ね 予定通り	遅れ	完了	廃止
重点事業 全 12 事業	6	5	1	0	3	5	4	0	0
基本事業 全 29 事業	20	8	0	1	9	14	2	3	1
全 体	26	13	1	1	12	19	6	3	1
	64%	32%	2%	2%	29%	46%	15%	8%	2%

【評価区分】

A：今後も現状（計画・予定）通り事業を進めることが妥当。もしくは、予定通り完了

B：事業内容や事業手法に改善を行う余地があり。より一層の効率化やコスト削減、成果向上に努める必要があり

C：事業内容や事業手法の大幅な見直しが必要。取組内容の一部廃止や実施主体の変更など、事業内容の大幅な見直しに努める必要があり

D：事業の廃止や休止、事業規模の大幅縮減など、事業のあり方について抜本的に検討する必要がある

＜重点事業と評価の実施対象年度＞ 12 事業を 3 か年に分けて実施

重点施策名	重点事業名	2022	2023	2024
自らの可能性を広げる 力の育成	「主体的・対話的で深い学び」推進事業			○
	I C T 活用・整備推進事業	○		
	子どもの読書活動推進事業			○
誰もが安心して自分ら しく学べる場の確保	きめ細かな教育推進事業		○	
	いじめ・不登校対策事業			○
	特別支援教育推進事業		○	
	外国人児童生徒等教育事業	○		
	学校施設長寿命化改修事業			※
郷土を愛し、生涯学び、 活躍できる機会の創出	WE LOVE とよた教育プログラム推進事業	○		
	ものづくり教育プログラム事業		○	
家庭・学校・地域の共働 の推進	コミュニティ・スクール／地域学校共働本部推進事業		○	
	地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業			○

※事業展開の見直しを行うため、総合評価の対象から除外する。

2 点検・評価の結果

＜点検・評価実施委員による評価及び主な意見＞

重点施策名	重点事業名	評価
誰もが安心して自分らしく学べる場の確保	きめ細かな教育推進事業	A
■有識者・教育委員の意見 ・学力向上、子どもと触れ合う時間の確保、児童の心の安定、保護者への対応充実に効果を感じている学校が多く、評価できる。市独自の少人数学級の安定的運用と発展に向けて、現在の方向性を保ちつつ事業を推進して欲しい。 ・一方で、教員不足は大きな課題である。人材確保や教員の力量向上を進めるとともに、特別支援教育支援員や教員業務支援員などの外部人材の活用といった、多様な方策からのアプローチについても検討されたい。 ■今回の点検・評価に関する意見への対応 ・事業継続のためには、人材確保と教員の力量向上が不可欠である。そのため、市独自でペーパーティーチャー※相談会による新たな人材発掘を行うとともに、講師の力量向上のために講師研修(オンライン)を継続実施していく。 ※教員免許状を所有していながらも教員として働いた経験が無い方や、過去に勤務した経験を持ち、もう一度教員として働きたいという方		

重点施策名	重点事業名	評価
誰もが安心して自分らしく学べる場の確保	特別支援教育推進事業	A
■有識者・教育委員の意見 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした、ブロックサポート体制の充実により、保護者と関係機関の連携、教員の専門性向上のための研修等の機会の充実が図られ、各校での取り組みの充実につながっており、評価できる。支援や合理的配慮を必要とする児童生徒数が増加し、かつ事情が多様化しているため、全ての児童生徒の学びの場を充実させるための特別支援教育推進は必須なので、方向性を維持しつつ事業を進めていただきたい。 ■今回の点検・評価に関する意見への対応 ・合理的配慮の調整等、多様化するニーズに対応するため、管理職や特別支援学級担当を対象とした研修の充実や特別支援学校教諭免許取得を推進する仕組みを検討するなど、市内教員の専門性を高める取組を行っていく。		

重点施策名	重点事業名	評価
郷土を愛し、生涯学び、活躍できる機会の創出	ものづくり教育プログラム事業	A
■有識者・教育委員の意見 ・学校現場が授業時間の範囲で取り扱えるように、教科書と活動のリンクを図り、カリキュラムレベルでの工夫がされていて大変良い。また、子どもたちの体験不足を補うといった学習への効果のみならず、教師の単元・授業づくりへの効果も期待できる。さらに、小学校の教科書改訂にあわせて、新しいカリキュラムの見直しができるおり、学校も令和 6 年 4 月当初から応募しやすい状態となっている。 ■今回の点検・評価に関する意見への対応 ・今後も教育プログラムをカリキュラムに沿った活用しやすい学習内容にするために精選を行い、学校からの要望に応えていく。		

重点施策名	重点事業名	評価
家庭・学校・地域の共働の推進	コミュニティ・スクール/地域学校共働本部推進事業	B
■有識者・教育委員の意見 ・豊田市の学校運営協議会制度はまだ始まったばかりである。中学校区で組織されるコミュニティ・スクール連絡会議と各学校に設置された学校運営協議会の関係、地域学校共働本部や地域コーディネーターのそれぞれの目的、役割を整理し、各中学校区、学校の状況を踏まえた、継続的な教育委員会の伴走支援が必要である。 ・学校や行政とつながりのある人材の偏りを無くし、潜在的な地域人材の協力を得ることが必要である。実際に継続して地域に根づいた活動ができる人材発掘であり、その人たちのネットワークづくりや、地域自治活動に様々な背景を持つ市民が参加しやすくするための地域組織の再構築が鍵となる。 ■今回の点検・評価に関する意見への対応 ・関係者が制度を正しく理解するため、管理職研修や役職者研修を通して、コミュニティ・スクールのねらいや目的について意識の共有を図る。		